

第3回 並松地区堤防景観検討会 議事概要

日時：令和2年11月18日（水）13:00～14:00

場所：北部産業創造センター2F 多目的ホール

【出席者（順不同）】

明石工業高等専門学校 教授 神田委員（座長）

京都市立芸術大学 教授 藤本委員

京都府中丹東土木事務所長 八田委員

綾部市副市長 山崎委員

味方地区代表 志賀委員

味方地区代表 四方（諭）委員

並松地区代表 一瀬委員

【事務局】

福知山河川国道事務所

議事1：並松地区堤防景観検討会の規約について

<事務局>

味方地区、並松地区、及び京都府中丹東土木事務所の委員変更について説明を行った。
規約の改定について事務局から説明を行い、了承された。

議事2：景観に配慮した堤防整備イメージについて

<事務局>

事務局より第2回並松地区堤防景観検討会の概要と、いただいた意見に対する回答、
堤防整備コンセプトに基づいた堤防整備イメージについて説明を行った。
資料説明後、堤防整備イメージを示した動画を上映し、議事3の意見交換を行った。

議事3：意見交換

主な意見は以下の通り。

①松と桜の植樹について

- ・ 松と桜を特殊堤直下の歩道部に植える計画であるが、樹木の成長とともに根が盛り上がり、護岸構造に影響を与える恐れはないのか。
- ・ 植える本数は、現状の本数と同数を想定しているか。また、景観の視点で等間隔での樹木配置が望ましいのか。
- ・ 松と桜、それぞれに適切な配置間隔があると思うので、植栽の専門家に見てもらおうのがよい。

- ・ 松も桜も種類によって印象が異なる。並松にふさわしい種類を今後検討して欲しい。
- ・ 子供の頃から並松で育ってきたが、綾部大橋と桜の風景は、非常に綺麗だと思っている。半分は松になるが、春には並松の河原まで訪れ、景色を楽しむ人も多いため、この計画は素晴らしいと思っている。

<事務局回答>

- ・ 樹木の成長とともに根が地表に盛り上がり、河川構造物に影響を与えない植樹基準に基づいた詳細設計を進める予定である。
- ・ 松と桜に関しては、前回の検討会で地元意見を再確認し、樹種を決定したいとの要望を受けた後、地元の総意として松と桜を半分ずつ植樹するとの意見を反映させた計画となっている。
- ・ 植える本数は、現状の本数と同数としており、今後は並松の景観にふさわしい松と桜の間隔や樹種について、当時の並松地区の写真も参考に詳細に検討させていただく。

②歩道の整備について

- ・ 歩道の舗装材には、様々な選択肢がある。整備区間は歩く人が多い区間であるため、景観だけでなく、利用にも配慮した選択がよい。
- ・ 並松地区では自然景観に合わせた舗装が望ましい。柄などは入れない方がよい。
- ・ 脱色アスファルトでベージュ系の色で彩度は低く抑えられ、松にも桜にも色彩がマッチする。
- ・ 杉板型枠で仕上げた特殊堤との組合せを考えると、シンプルな舗装色でなければ、かえって煩雑な印象となる。

<事務局回答>

- ・ 舗装材については、自然石風ブロックのベージュ系の色がよいという認識で、今後検討を進めさせていただく。

③階段の整備について

- ・ 河川へ下りる階段は、現状の高さでは危険を感じないが、整備後に高さが上がると、怖さを感じるかもしれない。まっすぐ下りる（流軸に直行する）階段だけでなく、両サイドにも階段を設置し、様々な方向に緩やかに下りられる印象の構造とすることが望ましい。
- ・ 綾部高校の学生がカヌー利用をしているが、階段部分は、カヌーを下ろすことができる構造を想定しているのか。

<事務局回答>

- ・ 階段の形状についてご指摘があったため、カヌーに関しても併せて検討させていただきたい。

(その他)

- ・ 電柱については、地中化をする想定か。
- ・ 味方から見ると、以前の並松は松が生えており、河岸は緑が多い印象であった。護岸が自然石風のブロックになると、緑の並松のイメージが大きく変わってしまう。
- ・ 遊歩道についても、歩こう会でもメインの通りであるため、コンクリートの印象を緩和させる植栽帯などを設けることは可能か。

<事務局回答>

- ・ 無電柱化についても綾部市、道路管理者、電線管理者と今後調整させていただきたい。
- ・ 現状、堤防の草刈りには高いコストが掛かっている。並松で堤防を緑化した場合、同様に草刈りを行う必要があり、費用の面から難しいという実情をご理解いただきたい。

議事4：今後のスケジュール

事務局から今後のスケジュールについて説明を行った。

- ・ 本日の議論をもって、堤防整備イメージについてご了承いただけたため、並松地区堤防景観検討会は終了となります。
- ・ 今後は本日の意見を踏まえた景観に配慮した堤防整備設計を進めていきたい。